学校番号	411

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	数学Ⅰ　Select（東京書籍）						
副教材等	Select Buddy ASSIST 数学Ⅰ＋A　（東京書籍出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業中の練習問題、問題集の問題は必ず自分の力で解いてください。間違えた問題は、解説を読み、どこで間違えていたのかを確認しましょう。また、分からない問題も、解き方を覚えるのではなく、解説をしっかり理解しながら読み進めてください。
毎回の授業を大切にし、分からない部分があったらその都度質問をして、疑問を解消してください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な概念や原理・法則（公式）などの知識の習得と技能の習熟ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
原理・法則を理解し、事象について論理的に考察と表現を行うことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に課題に取り組み、問題解決の過程を振り返って考察を進めることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，２次関数，図形と計量およびデータの分析における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身につけている。	数と式，２次関数，図形と計量およびデータの分析における事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。	数と式，２次関数，図形と計量およびデータの分析における論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようと している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	式の計算	単項式と多項式 多項式の加法・減法・乗法 因数分解	a:式の見方について理解している。 b:整式の計算においても，数の計算と同様な法則(交換，結合，分配)が成り立つことをもとに，展開公式を導く過程を考察することができる。 c:整式の計算においても，数の計算と同様な法則(交換，結合，分配)が成り立つことに気づき，整式の展開などにおいて，その法則を活用しようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出 小テスト
	実数	実数 根号を含む式の計算	a: 平方根を含む式の加法，減法，乗法について理解している。 b: 絶対値が，数直線上の点と原点との距離であることを理解し，絶対値の値や性質を考察することができる。 c: 数の体系に関心をもち，調べてみようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出 小テスト
	1次不等式	不等式とその性質 1 次不等式の解法 不等式の応用	a: 不等式の解の意味について理解している。 b: 不等式の解を数直線上の点の集合としてとらえ，連立不等式の解法を考察することができる。 c:不等式の性質に関心をもち，数や式の大小比較の際に活用しようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出 小テスト
	集合・命題と論証	集合 命題と条件 論証	a: 命題と条件に関する基本的な用語や記号を理解している。 b: 集合間の関係式をいろいろな場面に適用して考察することができる。 c: 筋道を立てた考え方の必要性を感じとり，数学的な論証に関心をもつ。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出 小テスト

2	関数とグラフ	関数 2 次関数とそのグラフ 2 次関数の最大･最小 2 次関数の決定	a: 関数の概念や，定義域，値域について理解している。定義域に制限がある場合について，2 次関数の最大値最小値を求めることができる。 b: 頂点の移動をもとに，2 つの放物線の位置関係を考察することができる。グラフや最大値最小値に関する条件が与えられたときの 2 次関数の求め方を理解している。グラフや最大値最小値に関する条件が与えられたときの 2 次関数を求める過程を考察することができる。 c: 関数関係をグラフで表すと，関数の性質が直観的にとらえやすくなることに気づき，そのことを利用して，いろいろな関数の特徴を調べてみようとする。2 次関数の最大最小に関心をもち，調べてみようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出 小テスト
	2 次方程式・2 次不等式	2 次関数の解法 2 次関数の実数解の個数 2 次関数のグラフと x 軸の共有点 2 次不等式 2 次不等式の応用	a: 放物線と x 軸の位置関係を，2 次方程式の解に帰着させて考えられることを理解している。 b: 不等式の解をグラフの上下関係からとらえ，2 次不等式の解法を考察することができる。 c: 放物線と x 軸の共有点の個数が，2 次方程式の解の個数に帰着させて考えられることに関心をもち，調べてみようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出 小テスト
3	鋭角の三角比・三角比の拡張	直角三角形と三角比 三角比の相互関係 三角比と座標 拡張した三角比の相互関係	a: 角を鈍角まで拡張した場合の三角比について理解している。 b: 三角比が角の大きさのみによって定まる値であることを踏まえ，測量などの場面で活用することができる。 c: 三角比に関心をもち，図形の計量に活用しようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出 小テスト

	三角形への応用	正弦定理 余弦定理 三角形の面積 空間図形の計量	a: 正弦定理や余弦定理を利用した図形の計量について理解している。 b: 三角形の面積の求め方を考察することができる。 c: 正弦定理や余弦定理などが，図形の計量の考察に有用であることに気付き，活用しようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出 小テスト
	データの整理と分析・データの相関	データの整理と代表値 四分位数と箱ひげ図 分散と標準偏差 相関関係 相関係数	a: 範囲，偏差，分散，標準偏差の意味を理解している。 b: 標準偏差を導く過程を考察することができる。 c: データの散らばりについて関心をもち，四分位範囲や標準偏差について調べようとする。	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	発問評価 課題提出 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度